

【事務事業調査】

事務事業名	浄化槽設置整備事業			予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
					001-08-04-02-005-01-01
担当部課	建設産業部 上下水道課	担当 サブリーダー	業務管理担当 加藤 輝夫	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	国の循環型社会形成推進交付金事業(H18～H22の5ヶ年計画)を活用し、年間100基×5年間(500基)の個人設置型を推進する。補助金額は、国支出金1/3・県支出金1/3(財政力指数×補助率・残り町一般財源で、平成21年度も国の基準により、5人槽(332,000円)・7人槽(414,000円)・10人槽(548,000円)とする。普及啓発活動は、広報たかねざわに年2回、町HPにも掲載して実施する。また、独自のパンフレット(A4)にて、適正な維持管理を推進する。	H19年度末現在、1,064基が町補助金事業により設置したが、今後も「公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業区域(小規模排水処理区域)」を除いた地域の浄化槽を設置する方に対し補助することで、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、良好な生活環境の保全が図られる。
実績	国の循環型社会形成推進交付金事業(H18～H22の5ヶ年計画)を活用し、年間100基×5年間(500基)の個人設置型を推進することとしたが、今年度においても設置要望が計画基数まで至らなかった。補助金額については計画どおりであった。広報たかねざわに特集ページを年2回(H21.4月号、H21.12月号)、町HPにおいても上下水道課のページに常時掲載し、事業の普及啓発活動を実施した。また、独自のパンフレット(A4)を浄化槽の新規設置者に対して配付するとともに、窓口にも常備することにより、適正な維持管理の推進を図った。	H21年度末現在で、町補助金事業により設置した基数は1,188基となり、水洗化率も年々向上している。今後も「公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業区域(小規模排水処理区域)」を除いた地域の浄化槽を設置する方に対し補助することで、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、良好な生活環境の保全が図られる。

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
浄化槽設置数(町補助金交付有)	100基	59基	平成2年度から補助開始し、平成21年度末で1,188基設置(補助金交付) 平成18年度から循環型社会形成推進交付金事業(5年間)の計画に沿って実施 (参考) 平成18年度設置数 100基 平成19年度設置数 68基 平成20年度設置数 65基

■事業費(計画)

細 節	金 額
1 負担金補助及び交付金	39,460,000
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	39,460,000

■事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 負担金補助及び交付金	39,460,000
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	39,460,000

■事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 負担金補助及び交付金	22,912,000	
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	22,912,000	

■事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		39,460,000	
	補正予算額		-16,548,000	
	流用額		0	
	予算現額		22,912,000	
決 算	決算額		22,912,000	
財 源	国庫支出金	13,152,000	7,637,000	
	県支出金	8,418,000	6,109,000	
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	21,570,000	13,746,000	
	差引(一般財源)	17,890,000	9,166,000	